

学位論文審査基準

【文学研究科】

(修士論文)

以下の評価項目すべてについて、修士論文としての水準に達していること。

[評価項目]

1. 明確な問題意識に基づき、統一されたテーマを有し、統一された形式で書き下ろされたものであること。
2. 先行研究を的確に踏まえた上で、出典記載、引用が適切になされていること。
3. 独創的知見を有する研究であること。
4. 論理展開に整合性を有し、論文の言語表現が的確であり、目次・注・付録（図表・史資料・参考文献など）に関する書式が整っていること。
5. 研究計画の立案・遂行、研究資料の収集・管理、研究成果の発表などに関して、適切な倫理的配慮がなされていること。

(博士論文)

以下の評価項目すべてについて、博士論文としての水準に達していること。

[評価項目]

1. 明確な問題意識に基づき、統一されたテーマを有し、統一された形式で書き下ろされたものであること。
2. 先行研究を的確に踏まえた上で、出典記載、引用が適切になされていること。
3. 独創的知見を有する研究であること。
4. 論理展開に整合性を有し、論文の言語表現が的確であり、目次・注・付録（図表・史資料・参考文献など）に関する体裁が整っていること。
5. 論文を構成する一部が、専門学会での掲載論文などによる研究成果を含んでいること。
6. 研究計画の立案・遂行、研究資料の収集・管理、研究成果の発表などに関して、適切な倫理的配慮がなされていること。

【国際社会システム研究科】

(修士論文)

以下の評価項目すべてについて、修士論文としての水準に達していること。

[評価項目]

1. 研究目的が明確で、課題設定が適切になされていること。
2. 当該分野に関する先行研究が適切に整理され、自分の研究を当該分野の研究動向の中に位置づけていること。
3. 研究目的を達成するために、データ・資料の収集、処理、分析、解釈の仕方などに関して、適切な研究方法がとられていること。
4. 全体の論旨が明確かつ一貫しており、設定した課題に対応した独自の結論が提示されていること。
5. 要旨・目次・章立て・引用・注・図表・数式・文献などに関する学術的な体裁が整っていて、適切な表現・表記法によって記述されていること。
6. 研究計画の立案・遂行、研究資料の収集・管理、研究成果の発表などに関して、適切な倫理的配慮がなされてい

ること。また、法律や学内の倫理規程、及び研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準などを遵守していること。

【薬学研究科】

(博士論文)

以下の評価項目すべてについて、博士論文としての水準に達していること。

[評価項目]

1. 研究テーマ

- (1) 薬学領域あるいは関連領域において、学術的又は社会的な重要性が認められること。
- (2) 新規性や独創性を備えていること。

2. 研究の背景及び目的

- (1) 先行研究において、何がどこまで明らかにされているか、残されている問題点が何であるかが明確に記述されていること。
- (2) 先行研究の状況を踏まえて、研究目的（何を、どこまで明らかにするか）が明確に記述されていること。

3. 研究方法

- (1) 実験手法、材料、試薬、機器、試料及びその調製などの方法が適切であること。
- (2) 他の研究者による追試が可能であるように、適切に記載されていること。
- (3) 生命の尊厳が尊重され、研究倫理が遵守されていること。

4. 結果及び結論

- (1) 実験や調査の結果が適切に図表にまとめられ、客観的かつ正確に記述されていること。
- (2) 結論にいたる論理の展開が、先行研究並びに得られた結果に基づいていること。
- (3) 学術的あるいは社会的な重要性が明確に記述されていること。
- (4) 新規性や独創性が適切に記述されていること。

【看護学研究科】

(修士論文)

以下の評価項目すべてについて、修士論文としての水準に達していること。

[評価項目]

1. 学術的重要性・課題設定の妥当性

- (1) 学術的に重要な研究テーマであること。
- (2) 看護学の発展に貢献する研究であること。
- (3) 問題意識が明確で、課題が適切であること。

2. 情報収集の妥当性

- (1) 研究課題に関連する文献を広く検索し、当該領域での研究の意義や重要性を位置づけていること。
- (2) 先行研究・文献との関連は十分であること。

3. 研究倫理の遵守・倫理的手続きの妥当性

- (1) 研究参加者への倫理的配慮が明確であること。
- (2) 生命の尊厳を尊重し、かつ、研究倫理を遵守すること。

- (3) 研究公正の観点から問題がないこと。
- 4. 研究計画・方法の妥当性
 - (1) 研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられていること。
 - (2) 科学的根拠に基づいた研究方法が用いられていること。
 - (3) 研究方法が具体的に論述されていること。
- 5. データ分析の論理性
 - (1) 研究結果の分析・考察が論理的で明確であること。
- 6. 論述の厳密性・緻密性
 - (1) 論旨は明確で、一貫性があること。
 - (2) 結果と考察の整合性があること。
- 7. 研究の独創性あるいは新規性
 - (1) 研究に新規性が認められること。
 - (2) 今後に向けての新たな提案が盛り込まれていること。

(課題研究論文)

以下の評価項目すべてについて、課題研究論文としての水準に達していること。

[評価項目]

- 1. 学術的重要性・課題設定の妥当性
 - (1) 当該分野の看護実践の質の向上につながる重要な研究テーマであること。
 - (2) 看護学の発展に貢献する研究であること。
 - (3) 問題意識が明確で、課題が適切であること。
- 2. 情報収集の妥当性
 - (1) 研究課題に関連する文献を広く検索し、当該領域での研究の意義や重要性を位置づけていること。
 - (2) 先行研究・文献との関連は十分であること。
- 3. 研究倫理の遵守・倫理的手続きの妥当性
 - (1) 研究参加者への倫理的配慮が明確であること。
 - (2) 生命の尊厳を尊重し、かつ、研究倫理を遵守すること。
 - (3) 研究公正の観点から問題がないこと。
- 4. 研究計画・方法の妥当性
 - (1) 研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられていること。
 - (2) 科学的根拠に基づいた研究方法が用いられていること。
 - (3) 研究方法が具体的に論述されていること。
- 5. データ分析の論理性
 - (1) 研究結果の分析・考察が論理的で明確であること。
- 6. 論述の厳密性・緻密性
 - (1) 論旨は明確で、一貫性があること。
 - (2) 結果と考察の整合性があること。
- 7. 研究の独創性あるいは新規性
 - (1) 研究に新規性が認められること。
 - (2) 今後に向けての新たな提案が盛り込まれていること。

(博士論文)

以下の評価項目すべてについて、博士論文としての水準に達していること。

[評価項目]

1. 学術的重要性・課題設定の妥当性
 - (1) 学術的に重要な研究テーマであること。
 - (2) 看護学の発展に貢献し、社会などへの応用的価値の高い研究であること。
 - (3) 問題意識が明確で、課題が適切であること。
2. 情報収集の妥当性
 - (1) 研究課題に関連する文献を広く検索し、当該領域での研究の意義や重要性を位置づけていること。
 - (2) 先行研究・文献との関連は十分であること。
3. 研究倫理の遵守・倫理的手続きの妥当性
 - (1) 研究参加者への倫理的配慮が明確であること。
 - (2) 生命の尊厳を尊重し、かつ、研究倫理を遵守すること。
 - (3) 研究公正の観点から問題がないこと。
4. 研究計画・方法の妥当性
 - (1) 研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられていること。
 - (2) 科学的根拠に基づいた研究方法が用いられていること。
 - (3) 研究方法が具体的に論述されていること。
5. データ分析の論理性
 - (1) 研究結果の分析・考察が論理的で明確であること。
6. 論述の厳密性・緻密性
 - (1) 論旨は明確で、一貫性があること。
 - (2) 結果と考察の整合性があること。
7. 研究の独創性あるいは新規性
 - (1) 研究に学術的独創性や新規性が認められること。
 - (2) 今後に向けての新たな提案が盛り込まれていること。

【生活科学研究科】

(修士論文)

以下の評価項目すべてについて、修士論文としての水準に達していること。

[評価項目]

1. 生活科学分野として適切なテーマが設定されていること。
2. 研究の背景や位置づけが国内外の先行研究に基づいて明確にされていること。
3. 新規性のある研究目的が明示されていること。
4. 研究方法が明確かつ具体的に記述されていること。
5. 生命の尊厳を尊重し、かつ、研究倫理が遵守されていること。
6. 研究結果は実験や調査又は文献研究で得られたデータの科学的又は体系的解析・整理が行われていること。
7. 考察は科学的又は体系的な論理展開により説得力を持っていること。